

湯尾リトルドラゴン準優勝 福井綱引大会ジュニアの部

1月25日、第25回平和堂カップ福井綱引大会がサンドーム福井で行われ、県内外から17チーム参加のジュニアの部で、湯尾小6年生5人、今庄小6年生4人で編成した湯尾リトルドラゴンが県内勢トップの準優勝を果たしました。

12月から週2回の練習を重ね大会に臨み、呼吸と力をあわせ予選リーグを2位で通過、決勝トーナメントに進みました。惜しくも優勝は逃したものの「列が曲がってしまう欠点を克服し、まっすぐ綱を引くことができた。準優勝はすごくうれしい」とその成果を喜んでいました。



かまくらでソリ遊び たくらかまくらまつり



2月8日、宅良公民館主催のたくらかまくらまつりが、リトリートたくらで開かれ、家族連れらでにぎわいました。

会場では、イノシシの炭火焼きやシシ汁のバザーのほか、つくたてのもちが振る舞われました。

また、たくらかまくらまつり実行委員会のメンバーらが作り上げた大きなかまくらの上から、ソリで勢いよく滑る子どもたちは、寒さを吹き飛ばす歓声をあげて楽しんでいました。

駅伝で交流深め 羽島若獅子駅伝競走大会

町と友好提携を結んでいる岐阜県羽島市で、2月11日、第20回羽島若獅子駅伝競走大会が開かれ、南越前町A.C（アスリートクラブ）が出場しました。大会には、3部門に73チームが参加。全長17.2kmを7人でたすきをつなぎ、南越前町A.Cは高校生以上の一般男子の部で19チーム中、1時間1分30秒で5位入賞を果たしました。

また、南越前町と南越前町A.Cが旧河野村時代を含め第2回大会から19年連続で出場していることに対し、大会の開催と発展に寄与したとして、羽島ライオンズクラブから特別賞の表彰を受けました。



自然美を凝縮 上野古典立華伝承展

2月14日、15日の両日、上野区に約150年前から伝わる「古典立華」の伝承展（上野華道奨励会主催）が南条文化会館で開かれ、町内外から訪れた大勢の人が、山水美を表す立華を鑑賞しました。

今年は雪が少なく材料を集めやすかったため、これまでで最も多い20点を制作展示。榛の木を接ぎ木し、松や菊、アイリスなどをあしらった高さ2.5m、幅6mの大作をはじめ、山、川、海などの自然の美しさを凝縮した作品に来場者らは「大木を見事につなぎ合わせて表現されており、力強さを感じる」と見入っていました。

水仙や海の幸を満喫 第34回水仙まつり「荒波フェスタ」

第34回水仙まつり「荒波フェスタ」が、1月17日、18日の両日、北前船主の館右近家前駐車場で開かれました。今年は、荒波フェスタに先立ち水仙まつりの開会式が河野総合事務所で行われ、増澤町長が「寒さに耐える強さと堅実さを感じさせる水仙。南越前町も、この水仙を中心とした花の文化を継承しながらまちづくりに努めていきたい」とあいさつ。新しい水仙娘にたすきが引き継がれ、河野小学校ジャズオーケストラが楽しい演奏を披露し、水仙まつりの開幕を盛り上げました。



荒波フェスタ会場の屋台村では、越前がにやなまこなどの海産物、へしこやおろしそばなどの特産品、カニ丼や海鮮丼、焼イカ、焼サバなどの海の幸など22の店が立ち並び、家族連れなど約10,000人でにぎわいました。右近家前で行った水仙の無料配布は、開始前から行列ができる盛況ぶり。水仙娘が「楽しんでいってくださいね！」と甘い香りいっぱいの水仙を来場者に手渡しました。また、新しい企画として右近家では上野古典立華の展示が行われ、高さ約2メートルの堂々とした松の枝ぶりが、隆盛を極めた屋敷を飾りました。



旗をさっそうとすり抜けて 白銀の世界を滑降

IMAJYO365 CUP ジャイアントスラローム大会 '08 町民スポーツ祭 冬季大会

1月20日、27日、2月3日に第17回IMAJYO365 CUPジャイアントスラローム大会が、3年ぶりに今庄365スキー場で開かれました。この大会は、スキーの大回転競技を楽しんでもらおうと3日間にわたり行



1月30日には、'08町民スポーツ祭ー冬季大会スキー競技ーも、3年ぶりに開かれました。この大会は、地区対抗種目8部門、オープン種目8部門を設け、小学1年生から59歳までの男女43人が出場。スキーを始めたばかりの選手は、確実に旗門を通過するよう丁寧な滑りでゴールを目指し、上級者は鋭いエッジングで果敢な滑りを披露しました。



われ、3日間での順位や、その日の成績、ベストラップを競いました。大会には、町内外の小学4年生から71歳までの男女47人がエントリー。選手らは全長700メートル、高低差150メートルのコースで、旗門ぎりぎりのラインを取りながら急斜面を滑降していました。

